

どうしよう？
困ったなあ？

ノンピック工法による

既存耐震スリット不具合の補修工事

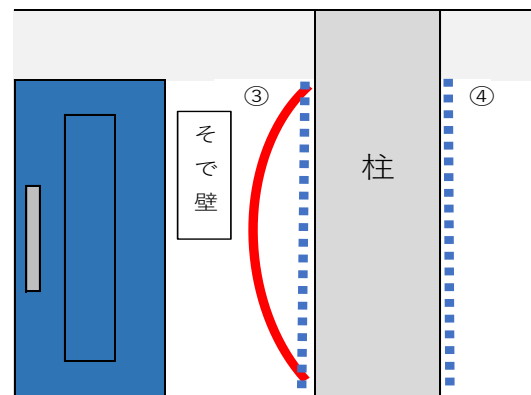
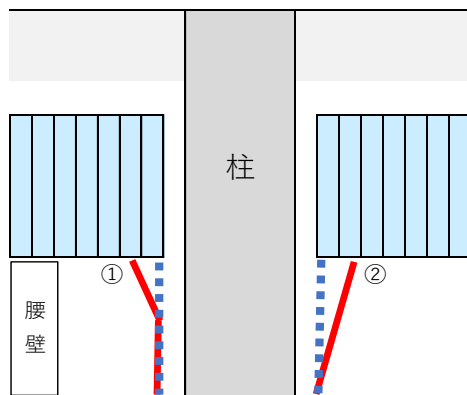
こんなとき！！

1. 既存の耐震スリットが曲がってしまっている
2. 施工の際、耐震スリットを入れ忘れている

居住者居ながらの施工や、建物の状況に応じた補修方法をご提案いたします。
先ずにご相談ください。

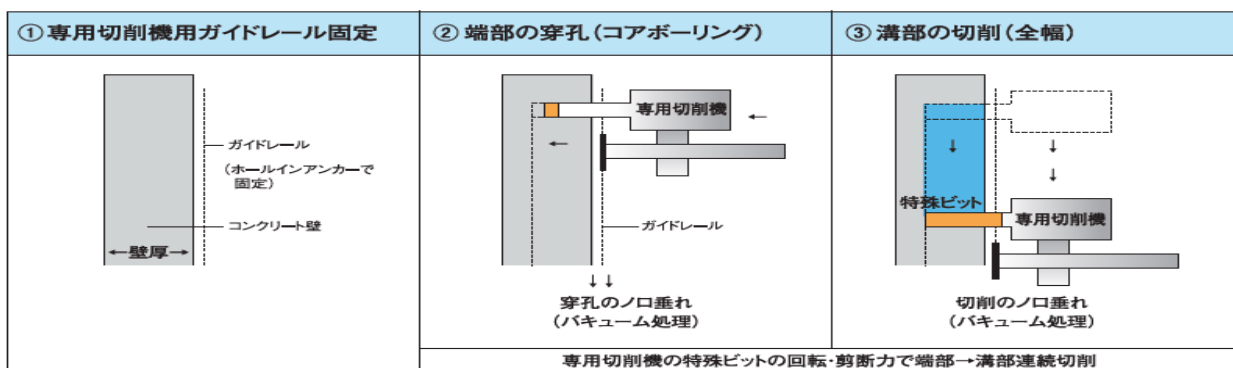
たとえば

- ①途中から耐震スリットが曲がっている。
- ②耐震スリットがずれている。
- ③コンクリート打設の側圧で耐震スリットが全体的に膨らんでいる。
- ④耐震スリットを入れ忘れている。



【ノンピック工法とは】

※(財)日本建築防災協会 技術評価を取得しており、
壁を貫通させずに躯体30mm以下残して、完全スリット同等
※居ながら施工する事が可能！！



『居ながら施工』などの実績多数 (施工現場は100件以上)

- ・耐震スリットの新設、既存曲がりスリットの撤去。
- ・ノンピック工法は外部から施工するので居住者の負担を軽減し、
『居ながら』の補修工事も可能です。(粉塵作業はほぼありません。)
- ・低振動・低騒音での施工も可能としました。
- ・安心、安全はもちろんのこと、施工不可に見える箇所も、多くの事例を参考に提案致します。